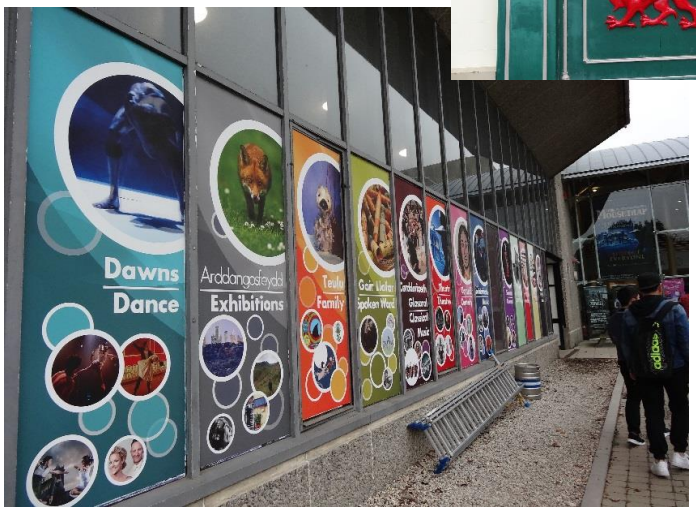
―アベリスツイス（Aberystwyth）―

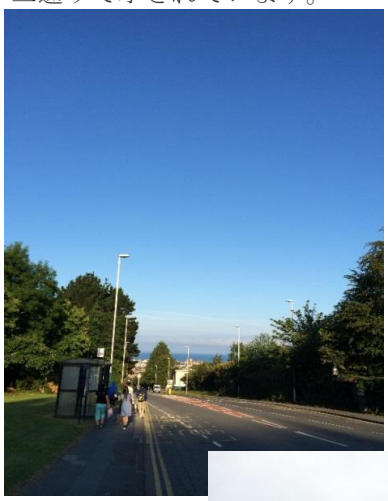
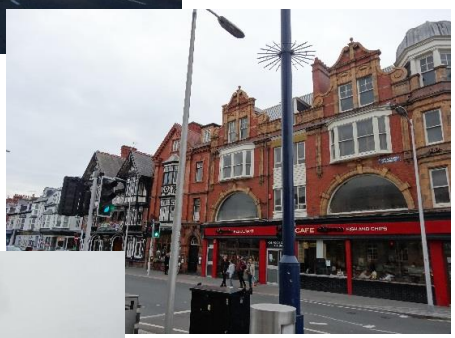
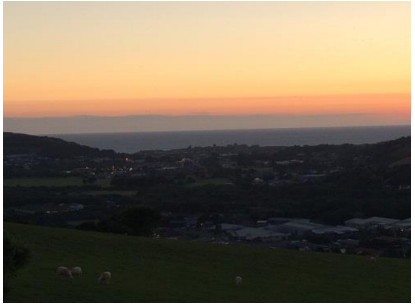
イギリスのロンドンから西へ列車で約6時間のカーディガン湾に面した人口約16,000人の町です。

主な産業は農業(牧畜)、商業、観光業で、ウェールズ大学アベリスツイス校、国立図書館など文教施設があることから学生が多く、世界各国からの留学生も多いところです。

レンガ造りの家並みと田園、美しい海岸が印象的な美しい町で、観光地として人気が高く、夏は避暑を楽しむ多くの観光客で賑わいます。

ウェールズの歴史と文化を誇りにし、ウェールズ語を多くの人が話し、町のサインも英語とウェールズ語が併記してあります。陽気で歌の好きな親切な人々が多いです



言語

ウェールズ語の語源は、ヨーロッパで最も古いとされている言葉の一つであるケルト語（ゲール語）。ウェールズ語で Walesのことを Cymruカムリと言い、「同胞の人々の住む国」といった意味がある。「Croesoi i Gymuru（クロイソ・イ・ガムリ＝ようこそ、ウェールズへ）」というサインをあちこちに掲げられ、旅人を温かく迎えてくれます。また、標識などはすべて公用語である英語とウェールズ語の二通りで示されています。